



## 2023年12月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2023年8月4日

上場会社名 YKT株式会社

上場取引所 東

コード番号 2693 URL <http://www.ykt.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 柳 崇博

問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営本部長 (氏名) 山本 庸一

TEL 03-3467-1251

四半期報告書提出予定日 2023年8月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2023年12月期第2四半期の連結業績(2023年1月1日～2023年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年12月期第2四半期	7,829	18.2	390	10.7	406	27.1	276	26.8
2022年12月期第2四半期	9,571	63.1	437		557	545.8	376	558.6

(注) 包括利益 2023年12月期第2四半期 377百万円 (34.1%) 2022年12月期第2四半期 572百万円 (391.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年12月期第2四半期	23.78	
2022年12月期第2四半期	32.47	

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2023年12月期第2四半期	13,815	8,082	58.1	691.58
2022年12月期	13,663	7,794	56.7	667.39

(参考) 自己資本 2023年12月期第2四半期 8,028百万円 2022年12月期 7,747百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年12月期		0.00		8.00	8.00
2023年12月期		0.00			
2023年12月期(予想)				5.00	5.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 2023年12月期の連結業績予想(2023年1月1日～2023年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	15,000	32.0	650	35.5	750	39.3	500	41.5	43.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
以外の会計方針の変更 : 無  
会計上の見積りの変更 : 無  
修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年12月期2Q	11,906,880 株	2022年12月期	11,906,880 株
期末自己株式数	2023年12月期2Q	297,942 株	2022年12月期	297,882 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年12月期2Q	11,608,978 株	2022年12月期2Q	11,609,111 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

#### 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載した業績予想数値は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいております。実際の業績はさまざまな要因により記載の予想数値と異なる可能性があります。上記の業績予想に関する事項は[添付資料]P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(4)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照下さい。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) キャッシュ・フローの状況 .....	2
(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(会計方針の変更) .....	9
(セグメント情報等) .....	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、コロナ禍から経済活動の正常化が進んだことに伴い、個人消費の回復が見られましたが、ウクライナ情勢の長期化、米中対立の深まりなどにより、物価の高騰が続き、世界経済に景気後退懸念が広がり、景気の先行きも不透明な状況で推移いたしました。

このような状況の中、当社グループの主要販売先である電機・機械・自動車等の製造業におきましては、半導体不足の緩和による生産の回復、電気自動車（EV）需要の増加、人工知能（AI）の普及などにより、長期的な設備投資計画はあるものの、中国経済の減速、物価の高騰などから世界的な景気後退懸念があり、設備投資需要にも慎重さが見られております。その結果、当第2四半期連結累計期間の連結売上高は、78億2千9百万円（前年同期比18.2%減）となりました。損益面では、売上高の減少により売上総利益が減少したため、営業利益3億9千万円（前年同期比10.7%減）、経常利益4億6百万円（前年同期比27.1%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益2億7千6百万円（前年同期比26.8%減）となりました。

セグメント別の経営成績は、次のとおりであります。

#### (電子機器及び工作機械等)

電子部品実装機を中心とした電子機器は、景気の回復とともに国内の設備投資が増加しましたが、中国市場ではEVなどの車載向け設備投資需要はあるもののスマートフォン市場の減速により、全体的に設備投資には減速感が見られました。また、工具研削盤等の工作機械の国内販売も、前期までの積極的な設備投資から落ち着きを見せている状況です。

その結果、当セグメントの売上高は72億4千万円（前年同期比21.1%減）、営業利益は2億8千9百万円（前年同期比25.7%減）となりました。

#### (光電子装置)

光電子装置の販売は、レーザー装置及び光通信機器の研究開発目的や産業向けの需要が増加し、当セグメントの売上高は5億9千3百万円（前年同期比47.9%増）、営業利益1億円（前年同期比111.9%増）となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

#### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1億5千1百万円増加し、138億1千5百万円となりました。これは主として、受取手形、売掛金及び契約資産が10億7千7百万円減少し、商品残高も5億1千7百万円、その他流動資産も未収消費税の減少などにより7億6千4百万円減少しましたが、売掛金の回収、消費税の還付等により、現金及び預金が25億3千2百万円増加したことなどによるものです。

#### (負債)

負債合計は、前連結会計年度末に比べ1億3千6百万円減少し、57億3千3百万円となりました。これは主として、前受金の増加などによりその他流動負債が2億5千7百万円増加しましたが、支払手形及び買掛金が2億6千万円減少したことと、未払法人税等が1億1千万円減少したことなどによるものです。

#### (純資産)

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ2億8千8百万円増加し、80億8千2百万円となりました。これは主として、利益剰余金が1億8千3百万円増加したことと、為替換算調整勘定が6千6百万円増加したことによるものです。

### (3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ25億3千2百万円増加し、当第2四半期連結会計期間末残高は57億6千万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの主な要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は26億1千3百万円（前年同期比109.3%増）となりました。これは主として、仕入債務の減少額が2億7千1百万円、法人税等の支払額が2億7百万円となりましたが、税金等調整前四半期純利益が4億6百万円になったことと、売上債権の減少額が10億9千3百万円、棚卸資産の減少額が5億2千8百万円、そして、前受金の増加や未収消費税の減少などにより、その他の増加額が10億3千5百万円になったことなどによるものです。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は2千万円（前年同期比926.6%増）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出が2千5百万円あったことなどによるものです。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は1億2千3百万円（前年同期比87.2%減）となりました。これは主として、長期借入金による収入額が6億円ありましたが、長期借入金の返済による支出が6億2千5百万円あったことなどによる

ものです。

(4) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想（通期）に関しましては、2023年2月13日付「2022年12月期 決算短信」の発表から変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	3,228,051	5,760,101
受取手形、売掛金及び契約資産	2,662,087	1,584,401
商品	2,076,984	1,559,543
その他	1,366,595	601,701
貸倒引当金	△2,396	△1,333
流動資産合計	9,331,322	9,504,414
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	890,538	874,594
土地	1,189,738	1,189,738
その他(純額)	64,410	63,447
有形固定資産合計	2,144,687	2,127,781
無形固定資産		
その他	4,845	4,984
無形固定資産合計	4,845	4,984
投資その他の資産		
投資有価証券	270,341	307,322
投資不動産(純額)	1,679,475	1,665,178
その他	233,298	205,989
投資その他の資産合計	2,183,115	2,178,490
固定資産合計	4,332,648	4,311,255
資産合計	13,663,971	13,815,669

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,061,287	800,423
1年内返済予定の長期借入金	1,108,088	1,083,528
未払法人税等	218,992	108,229
その他	765,790	1,023,091
流動負債合計	3,154,158	3,015,273
固定負債		
長期借入金	2,351,824	2,350,400
退職給付に係る負債	305,584	314,783
その他	57,896	52,594
固定負債合計	2,715,304	2,717,777
負債合計	5,869,463	5,733,051
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,389,836	1,389,836
資本剰余金	1,997,995	1,997,995
利益剰余金	4,172,467	4,355,666
自己株式	△86,567	△86,584
株主資本合計	7,473,733	7,656,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	103,798	133,545
繰延ヘッジ損益	17,864	19,193
為替換算調整勘定	152,350	218,809
その他の包括利益累計額合計	274,013	371,548
非支配株主持分	46,761	54,155
純資産合計	7,794,508	8,082,618
負債純資産合計	13,663,971	13,815,669

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
売上高	9,571,811	7,829,772
売上原価	8,084,378	6,378,079
売上総利益	1,487,433	1,451,692
販売費及び一般管理費	1,049,564	1,060,848
営業利益	437,869	390,843
営業外収益		
受取利息	3,195	3,944
受取配当金	4,284	4,761
仕入割引	65,591	26,587
不動産賃貸料	49,200	49,200
為替差益	12,085	—
補助金収入	15,267	13,805
その他	3,398	2,384
営業外収益合計	153,023	100,684
営業外費用		
支払利息	13,027	14,148
不動産賃貸費用	20,178	47,067
為替差損	—	22,976
その他	563	1,231
営業外費用合計	33,770	85,423
経常利益	557,122	406,103
税金等調整前四半期純利益	557,122	406,103
法人税、住民税及び事業税	180,340	101,056
法人税等調整額	△15,311	25,048
法人税等合計	165,029	126,104
四半期純利益	392,093	279,998
非支配株主に帰属する四半期純利益	15,170	3,928
親会社株主に帰属する四半期純利益	376,922	276,070



(四半期連結包括利益計算書)  
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
四半期純利益	392,093	279,998
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,600	29,747
繰延ヘッジ損益	64,658	1,328
為替換算調整勘定	126,516	66,459
その他の包括利益合計	180,574	97,535
四半期包括利益	572,667	377,534
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	553,239	370,141
非支配株主に係る四半期包括利益	19,427	7,393

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	557,122	406,103
減価償却費	27,203	27,861
受取利息及び受取配当金	△7,479	△8,706
支払利息	13,027	14,148
売上債権の増減額 (△は増加)	△512,948	1,093,246
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△689,032	528,461
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,530,428	△271,708
その他	497,281	1,035,556
小計	1,415,603	2,824,962
利息及び配当金の受取額	7,489	8,715
利息の支払額	△12,497	△14,446
法人税等の支払額	△169,971	△207,838
法人税等の還付額	8,332	2,595
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,248,956	2,613,988
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△2,222	△25,176
無形固定資産の取得による支出	△250	△199
その他	445	4,578
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,026	△20,798
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△300,000	—
長期借入れによる収入	—	600,000
長期借入金の返済による支出	△604,984	△625,984
配当金の支払額	△58,101	△92,373
その他	△3,632	△5,319
財務活動によるキャッシュ・フロー	△966,718	△123,676
現金及び現金同等物に係る換算差額	121,377	62,535
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	401,589	2,532,049
現金及び現金同等物の期首残高	3,261,519	3,228,051
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,663,108	5,760,101

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。これによる四半期連結財務諸表へ与える影響はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自2022年1月1日至2022年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機器及び 工作機械等	光電子装置	計	調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	9,173,227	398,584	9,571,811	—	9,571,811
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	3,060	3,060	△3,060	—
計	9,173,227	401,644	9,574,871	△3,060	9,571,811
セグメント利益	389,189	47,300	436,489	1,380	437,869

(注)1. セグメント利益の調整額にはセグメント間取引消去1,380千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自2023年1月1日至2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	電子機器及び 工作機械等	光電子装置	計	調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
売上高					
外部顧客への売上高	7,240,760	589,011	7,829,772	—	7,829,772
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	4,935	4,935	△4,935	—
計	7,240,760	593,946	7,834,707	△4,935	7,829,772
セグメント利益	289,251	100,211	389,463	1,380	390,843

(注)1. セグメント利益の調整額にはセグメント間取引消去1,380千円が含まれております。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。